

2021年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
ステージシステム 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	佐川 圭太			実務経験	有	職種	PAエンジニア				
授業概要											
舞台機構技能検定3級相当の内容を中心に学習する。 演劇用語、舞台設備、コンサートなどの音響技術全般、各種楽器の仕組みと音色の把握ができるようになることが主な目的となる。 本講義は対面式とオンライン式を交えながら進めていく。											
到達目標											
音響のエンジニアとして様々なイベントへの関わりを持てる知識を得ることが目標である。 録音(レコーディング)だけでなく、各種イベントに積極的に関わって行ける事を目標とする。											
授業方法											
音響職全般における心構えと基礎となる知識を修得する。舞台機構技能技師3級問題集から学習を行う。											
成績評価方法											
試験・課題 80％ 試験を総合的に評価する 平常点 20％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
参考書・参考資料等は、授業中に適宜指示する。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション：講義の目的及び内容、講義コンセプト、得べき目標、試験内訳の説明										
第2回	舞台の種類1：舞台の成り立ちと種類										
第3回	舞台の種類2：「ストレートプレイ」について										
第4回	舞台の種類3：「ミュージカル」について										
第5回	舞台設備の種類1：劇場全体の設備										
第6回	舞台設備の種類2：舞台上の設備										

2021年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
ステージシステム1	
第7回	舞台用語：舞台で使用する専門用語
第8回	音の基礎知識1：音の三要素について理解する
第9回	音の基礎知識2：音の速度と応用について理解する
第10回	音の基礎知識3：音のふるまいについて理解する
第11回	音の基礎知識4：可聴範囲について理解する
第12回	音の基礎知識5：残響と吸音について理解する
第13回	電気の基礎知識1：電源の重要性
第14回	電気の基礎知識2：日本の電源構成
第15回	電気の基礎知識3：アース/グラウンドの理解